



安藤眼科医院

ANDO EYE CLINIC

<http://www.andoganka.com>
e-mail:info@andoganka.com

安藤眼科医院／〒258-0003 足柄上郡松田町松田惣領995-1
TEL:0465-83-4545 FAX:0465-82-0981
安藤眼科医院小田原クリニック／〒250-0862 小田原市成田168
TEL:0465-38-0344 FAX:0465-38-2800
安藤眼科医院南足柄クリニック／〒250-0105 南足柄市関本569
TEL:0465-73-1515 FAX:0465-73-8585

Annual Report 2012

医療法人社団 安藤眼科医院

高度な医療 そして やさしい心配り
患者様の明るい世界、輝く笑顔が見たいから成長し続けます



◇安藤眼科医院

〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 995-1
Tel 0465-83-4545

◇安藤眼科医院小田原クリニック

〒250-0862 神奈川県小田原市成田 168
Tel 0465-38-0344

◇安藤眼科医院南足柄クリニック

〒250-0105 神奈川県南足柄市関本 569 ヴェルミ 2 1F
Tel 0465-73-1515

<http://www.andoganka.com>

info@andoganka.com



安藤眼科医院 HP

目 次

2012 年 ANNUAL REPORT をお届け申し上げます	院 長 安藤 浩	1
VisuMax による屈折矯正手術	名誉院長 安藤 展代	4
眼科の未来予想図	副院長 江口 亮	6
最先端の検査機器	検査部長 井上 拓己	7
2012 年の思い出 安藤眼科医院南足柄クリニック開設	事務部長 加藤 晃仁	7
2012 年をふりかえって	看護師長 伊東 淳子	8
2013 年を迎えるにあたって	手術室長 木村 智嘉	8
2012 年の思い出		9
学会・勉強会		9
医師会・眼科医会		11
改装・修理		12
新設器械		12
2012 年に行われた手術		13
ひとみすつきり号（無料送迎車）の動き		13
2012 年皆勤賞 無遅刻・無欠勤・無早退の方々です。拍手！		14
入職者 がんばって下さい。		14
退職者 ごくろう様でした。		14
お誕生おめでとう。		14
スタッフ		14
おまけ：5月 21 日 金環日食	院 長 安藤 浩	15

2012年 ANNUAL REPORT をお届け申し上げます

院長 安藤 浩



はじめに

安藤眼科医院の理念を「高度な医療 そして やさしい心配り」に定めました

2012年も終わり早くも2013年がやってまいりました。当院が開設されてから、もうすぐ四半世紀が経過することになります。皆様のおかげで、今まで安定した医療を続けてこられました。本当にありがとうございます。

今まで振り返り、そしてこれから当院がどのような医療機関を目指しているのかを言葉に表したいと考え、「高度な医療 そして やさしい心配り 一患者様の明るい世界、輝く笑顔が見たいから成長し続けますー」を理念として掲げることにしました。

理事長、院長として私が考える理想的な医療機関は、強く朗らかで優しい医療機関です。科学として正しく、最先端を走る、強い医療行為をよどみなく行うこと、そして、診療に訪れる方々には、穏やかで優しく、柔軟な選択肢を提示できることが大切だと考えています。また、眼科医院は、眼球を修理する機関ではなく、眼科を訪れる人々の生活と未来に明るい光と希望を届けることが使命だと考えています。そのように、私が理想として考える眼科医院の姿を職員に説明し、職員それぞれが思う安藤眼科医院の、未来に向かう言葉を考えもらいました。安藤眼科医院スタッフそれぞれの思いの詰まった41個の言葉を吟味し、その中から選んで、事務員加藤明子、検査員須貝剛が考えた上記の言葉を、当院の理念として採用いたしました。

安藤眼科医院南足柄クリニックの開院

安藤眼科医院南足柄クリニックが2012年2月初旬に、大雄山線の大雄山駅正面で診療を開始しました。診療規模は医師1名、事務2名、検査1名で、眼科診療として、前眼部から眼底までの診察をするのにちょうど必要十分の施設です。南足柄方面から安藤眼科医院にいらっしゃる多くの方々の利便性が大幅に向上しました。今までは大雄山駅からはるばる酒匂川を渡ってバスで松田にいらしていた人が、新クリニック開設で“楽になったよう”と言いながら安藤眼科医院南足柄クリニックで診療を受けられるようになり、地元密着の医療機関として、本望を遂げつつある思いです。診療にいらしていただける患者様の数も、2月234名から始まり11月は384名にも達しました。

診療は、副院長江口亮と医長石川暢子が曜日毎に担当しながら、週2.5日の診察を受け持っています。すでに予約は1カ月先までほぼ満タンの状態が続いています。

新規近視矯正手術の開始

当院は 2000 年から LASIK を開始して、2012 年 2 月までに累計 3022 件の LASIK 手術を施行してきました。その間にも眼科学の進歩は目覚ましく、金属の刃で作成していたフラップをレーザーで作成可能になり、高次収差までの矯正を目指すようになってきました。名誉院長の安藤展代は 2007 年ごろから ESCRS (European Society of Cataract and Refractive Surgery) で新規機械情報を集めていました。そして、2013 年 3 月より、フェムトセカンドレーザーによる近視矯正手術が可能な Carl Zeiss 社製 VisuMax が、そして同時に、カスタム LASIK を可能にする AMO 社製 Visx が、安藤眼科医院に導入されました。

カスタム LASIK の機械と手術方法の導入に当たっては、みなとみらいアイクリニックの荒井宏幸先生に手術の立会とご指導をいただきました。また、フェムトセカンドレーザーの近視矯正手術を行うにあたり、北里大学清水公也教授と神谷和孝先生の手術を見学させていただき、神谷先生には手術に先立つご講演をいただきました。新規機械での近視矯正手術は、2012 年 12 月 1 日現在までに 243 件実施しました。これにより、カスタム LASIK、FLEEx と SMILE、さらに乱視矯正可能な後房型近視矯正眼内レンズ ICL と、すぐれた矯正手術のほとんどが可能になりました。それぞれの手術成績はとても良好で、今後の発展がとても期待できる楽しい分野です。

超広角走査レーザー検眼鏡 Optos200Tx 導入

Optos 社製 Optos200Tx を 2012 年 1 月に導入しました。このカメラは、無散瞳の状態で、眼底を一度に 200 度の広角、渦状静脈のやや外側まで 1 枚の画像として撮影します。自動車を運転して来院されたために散瞳眼底検査をできない患者様にも、眼底疾患のかなり詳細なスクリーニングができます。FAG、眼底自発蛍光撮影も行え、被験者の負担を減少させ、また、医師の診察力を強力に補助できるようになりました。

日本白内障屈折矯正手術学会総会

2012 年 6 月の本学会で、「小切開水晶体再建術後眼圧上昇因子の検討（1）」主演者高木智恵子と「小切開水晶体再建術後眼圧上昇因子の検討（2）」主演者江口亮 2 演題を発表しました。当院は、年間約 1700 件の白内障手術をしており、手術の安全については細心の注意を払っています。その合併症を最小限にする知識を得るために、白内障手術後の眼圧一過性上昇について、統計学的に処理し、眼圧上昇の危険要素を抽出いたしました。現在、原著論文の作成中であり、さらに、続けての研究を続行中になっています。

実動防災訓練

2011 年の東日本大震災から、当院も、防災に対しての姿勢を新たにしました。実際に負傷者役、障害物で開かない扉、などを作つての防災訓練を行いました。実動訓練をしてみると、紙上の防災と隔たりが多くあることに気づきます。安藤眼科医院が、外来診療中、手術中、その他の場合とそれぞれに分けて、居合わせた人々全員の、安全確保と、確実な帰宅を目指し、備えを努力しています。

内眼手術

硝子体手術は、超有力な網膜硝子体の専門家であり、卓越した硝子体手術者である先生を月 1 回お招きし、手術をしていただけようになりました。緊急手術や、入院が必要な症例は、近隣大学病院にご紹介させていただいていますが、黄斑前膜、網膜静脈閉塞や糖尿病網膜症に伴う黄斑浮腫など、計画手術が可能な症例を、当院で手術できるようになりました。これに伴い、硝子体手術用の Alcon 社製コンステレーション、Carl Zeiss 社製 Resight700、Dorc 社製 Xenon BrightStar、その他硝子体手術機械を導入しました。私が過去に知っていた硝子体手術と比較して、手術の時の視界、操作性、安定性ともに、現在の硝子体手術の進化は著しく、眼科学の進歩とその最先端を走る網膜硝子体専門家の技術は、何度見ても驚きの連続です。

白内障手術は、件数は 1,730 件で前年と比較して約 3% 増となりました。安定して地域の皆様に信頼していただいている証であり、とても嬉しい結果です。10 月 18 日より、日本眼科学会、日本眼内レンズ学会の企画による白内障術後眼内炎多施設共同研究に参加しました。これは、日本全国で 10 万件の水晶体再建術を登録し、術後 8 週までに術後眼内炎が起ったかどうかを報告します。この研究で、近年の水晶体再建術後に、どのような条件でどのくらいの眼内炎が起こるかの、統計的解析ができます。当院は 400 例を登録いたしました。

緑内障手術は 2012 年 12 月までに 101 件を施行し、昨年までと比較して明らかに増加しています。当院が積極的に緑内障診療を行っていることを、地域の皆様に徐々に評価していただいているのかもしれません。新しい術式として、2012 年 11 月から、Alcon 社製 EX-PRESS®を使用しての纖維柱帶切除術を開始しました。同手術は、手術後の安定が得やすく、当院での手術結果も現在のところ極めて良好です。近年は緑内障治療点眼液が進歩し、外来診療の幅が大きくなりました。しかし、緑内障手術はこの疾患に対して最後の砦です。進歩する診断と治療技術をどんどん取り入れながら、緑内障の方々の視覚を積極的に守ろうと考えています。

職員の推移

2012 年、安藤眼科医院のスタッフは、新しく 4 名の仲間を受け入れました。医療行為は、医師とスタッフたちのチームワークで成り立っています。新しく入った当院のスタッフを交えて、さらに新しく力強い安藤眼科医院を作っていくように、努力したいと思います。また、去年多くの精勤、皆勤賞の職員がいました。1 年間を通じてしっかりととした職務を全うしたことを心から称賛したいと思います。

年間を通して

安藤眼科医院と関係してくださっている、近隣病院、眼科、他科の先生方、関係企業の皆様のおかげで、無事に 1 年を乗り切ることができました。お世話になった方々、ありがとうございました。多くの手術や診療行為を滞りなく行えたのも、安藤眼科医院内外の人々のおかげです。さらに高度な医療を提供し、優しいこころくばりをもって、明るい世界を作れるようにと、スタッフは、とてもよく働いてくれています。これからも、眼科学を広げ、楽しみ、努力を続けていきたいと思いますので、皆様、どうぞよろしくご指導お願い申し上げます。皆様にとって、2013 年が、実り多い、良い年でありますように祈念いたします。

VisuMax による屈折矯正手術

名誉院長 安藤 展代

屈折矯正手術の歴史の中で私が心惹かれてやまなかつたのは、Dr.Barraquer の Keratomileusis（1964 年）だった。彼は角膜の表層を切除し、凍結し、冷凍旋盤で切削して形状を変化させ再び角膜に逢着することにより屈折矯正することを試みた。残念ながら広く实用に供されるには至らなかつたが、私には何となく、これが屈折矯正のあるべき姿、みたいな感覚で心に残つていた。

数年前の ESCRS でフェムトセカンドレーザーでレンチクルを切り出す話を聞いた。Zeiss 社製 VisuMax という機械だった。これこそ!!と私は反応し、その情報に耳を傾け続けた。折しも当院のマイクロケラトームとエキシマレーザーは耐用年数を過ぎ、一昨年買い替えを決意、どうせ買うなら VisuMax と決めた。昨年 3 月ついに大きなクレーン車を従えて VisuMax がやってきた。VisuMax だけではすべての症例に対応できないことが分かつたので、VISX を組み合わせることになり、それも同時期に搬入された。

始めは VisuMax でフラップを作り、VISX でカスタム LASIK を行う方法で 3 月 31 日から手術を開始した。5 月 25 日からは VisuMax でレンチクルを作るが、フラップをはがしてレンチクルを取り出す FLEX という方法が始まり、8 月 17 日からはついにやっと、作ったレンチクルを数 mm の小さい切開創から取り出す SMILE を始めることができた。

学会で見るビデオは 2 層にフェムトセカンドレーザーを当て、間にできたレンチクルを苦も無く取り出していた。しかし実際はそうはいかなかつた。機械の設定の問題かランニングカーブの問題か、フラップを剥離するのも容易でない症例が少なくなかった。考えてみれば学会ビデオは編集されているわけで、時間のかかる症例がそのまま出てくるわけではないのだ。私の心はしばしばグレーに沈んだ。それでも幸いそれを補って余りある VISX の性能のおかげもあって術後視力の経過は良好だった。

図 1 は 10 月 19 日までの術後裸眼(少数)視力、図 2 は矯正視力の経過の大まかな集計である(詳細は屈折矯正手術学会に譲る)。ReLEX(FLEX と SMILE の総称)はカスタム LASIK に比べて視力の立ち上がりが遅い。しかし術後 1 か月で 1.0 を超え、3 か月では 1.2 に届こうとしている。それにしてもカスタム LASIK の視力経過は良好である。術翌日から裸眼視力 1.0 を超え(図 1)、3 か月後の矯正視力は 1.5 に届こうとしている(図 2)。これは屈折矯正というだけでなく、新しい視力を作り出しているようにさえ思える。私はカスタム LASIK を見直すこととなつた。さらに VisuMax による ReLEX ではまだ遠視矯正、混合乱視矯正ができない。乱視軸を正確に合わせる認識システムがない。それなら SMILE にあこがれたのは間違ひだつたのだろうか?

図1：術後裸眼(少數)視力の経過

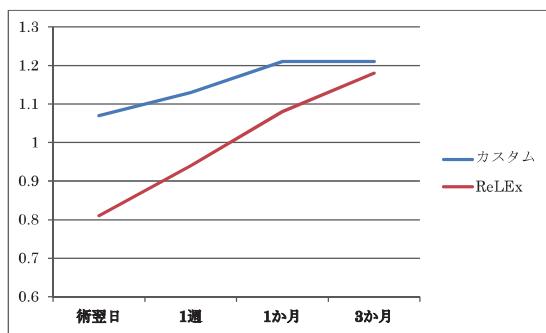
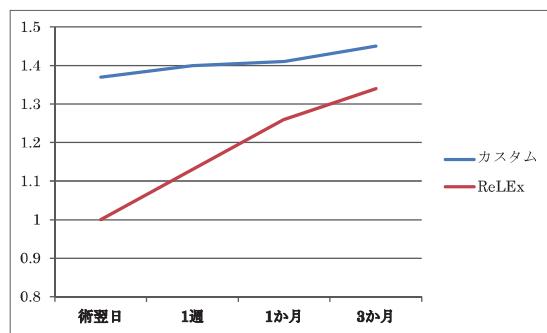


図2：術後矯正(少數)視力の経過



ところが最近何故か急に VisuMax はよく動くようになった。レンチクルの取出しが大変スムーズにできるようになり、手術はスマートになった。よかつた、よかつた、手術は一気に楽しみになった。

SMILE は切開創が小さいことから術後の痛みが少ない、ドライアイが少ないと考えられ、術後のフラップの安定が良く、外傷によるフラップトラブルは無いであろうし、長期経過における近視化も少ないと予想されている。3か月までの経過ではカスタム LASIK の勝ちである。長期成績はどうだろうか、3年、5年、10年先を楽しみにしたい。そしてまた、VisuMax が早急に進化を遂げ、矯正プログラムの充実、乱視軸認識システムの構築、そしてさらにカスタムでレンチクルを切り出してくれたら、こんなに嬉しいことはない。

こうして VisuMax は当院に安定した地位を築くことが期待されるのだが、またしても困ったことになっている。手術希望者が激減しているのだ。去年 3 月手術開始に当たりモニターを募集した。その人々の手術が 12 月で終わってしまったのだ。そして正規価格はやはり高くて説明会参加者も少なくなってしまった。人口密度が低く、若者が少ない、いわゆる田舎、とは言え都心へ 2 時間弱で行けてしまうという立地条件が困る。手術を受けたい人はインターネットで価格を調べ、都心にある、安価で手術を受けられる施設へ流れてゆくのである。当院での屈折矯正手術をどう継続してゆくか、新年の課題はここから始まる。幸い当院は院長以下職員の結束が固く、仲が良い。明るく楽しい雰囲気の中で自由に意見を言うことができ、良いアイデアが浮かぶことがうれしい。この雰囲気こそが現在の安藤眼科医院の宝であり強みである。みんなで力を合わせて何とか切り抜けてゆきたいものである。みんなと、そして応援してくださる皆様の健康と幸せを願っています。

眼科の未来予想図

副院長 江口 亮

私が 21 世紀最初の年に眼科医になって、はや十数年が経ちました。この十数年だけでも（臨床）眼科は驚くほど進化しました。最大の驚きは OCT（光干渉断層計）の進歩により、網膜内あるいは網膜下の直接観察することのできない部位の微細な構造までが鮮明に明らかとなり、今まで推測でしかなかった実際に眼内で起こっている病態のメカニズムがわかるようになってきたことでしょう。最近増加している加齢黄斑変性症はこの OCT などによる診断の進歩とさらに抗 VEGF 抗体の眼内への注射という画期的な治療により、「有効な治療がなくただ見守るしかない」疾患から、「維持・改善が見込める」疾患へと変化してきました。また、眼内レンズの進歩もめざましく、現在は着色（黄色）レンズ、非球面レンズ、完成度の高い多焦点レンズなど、以前の単純な球面レンズに比べ患者さんの視力の質を上げることに貢献しています。緑内障の手術にはインプラントという器具が最近日本でも認可され、これを眼内に留置することで一定量の水を眼内から眼外へ誘導することができ、安定した眼圧下降が維持されることが期待されます。

さて、ではこれからの方の未来、臨床面で眼科はどのように進化していくでしょうか。独断と妄想（失礼！）とちょっとした願望により予想してみましょう。

まず、そう遠くない十年以内の未来から。最大の驚きだった OCT はさらに進歩を遂げ、さらなる解像力の上昇と撮影速度の増加が達成されるでしょう。おそらく、眼内の広範囲を 1 秒程度で撮影できるようになり、現在のように狙った部位だけとのではなくスクリーニングとして記録的に撮影することで、後から出てきた疾患の部位の以前の状態を容易に振り返ることができるようになるでしょう。また、眼内注射では徐放剤が進歩し、現在のように 1 か月に 1 度といった注射ではなく、もっと長期に効果が持続する注射が出てくると予想します。ただ眼内レンズについては現在のレンズの延長線上のマイナーなバージョンアップにとどまるかな、と思います。調節力を持つ眼内レンズに期待はありますが、現在の感じではまだまだ時間がかかるのではないかと感じています。緑内障の手術（トラベクレクトミー）は最初の原型が出てからすでに 50 年経ちますが、結局（使用する薬剤、器具には進歩がありますが）現在でも同じ術式で行われており、画期的な新技術が期待されますが、そういう有望な話は聞こえてきません。

では、数十年先の未来はどうでしょうか。おそらくいろいろな器械の統合が行われており、1 つの器械で屈折度数・視力の測定から眼底の記録まで行えるようになっており、そのデータを世界中で蓄積された膨大なデータと照らし合わせて、内臓の CPU が可能性が高い「診断」を下してくれるようになる・・あれ、眼科医いらないんじや・・手術はあらかじめ記録しておいた患者さんの眼球の精緻なデータをインプットしておき、セッティングしておくとその手順に沿って正確にしかも速く器械がおこなってくれる・・あれ、やっぱり眼科医いらないんじや・・

最後の予想は眼科医としては外れてくれることを切に祈ります。

最先端の検査機器

検査部長 井上 拓己

気が付けば、安藤眼科医院で働き始めて、24年もの月日が経とうとしています。安藤眼科医院が今まで平穀無事に、そして私がこうして働き続けてこられたのも、一重に皆様のご厚意の賜と感謝しております。安藤眼科医院は、開院当初から、常に眼科における最先端の手技および設備を取り入れてきました。検査における機器も例外ではありません。眼科における検査機器の進歩は目覚ましく、操作性も精度も抜群に上がりました。しかしながら、外国製の最新機器を使いこなすのは容易な事ではありません。新米の検査員が優秀な検査員の技を盗んで腕を上げていたのは昔の話で、今では、操作方法を教えるのが中心になりつつあります。今後も、こうした検査機器を駆使しながら、少しでもスピード一に、そして的確な情報を医師や患者様に提供できるよう、検査員一同、頑張っていく所存ですので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

2012年の思い出 安藤眼科医院南足柄クリニック開設

事務部長 加藤 晃仁

「前の経営者は、フィリピン人女性を不法就労させてて捕まったんですよ。」

管理会社の方の話を聞きながら、自分は油とごみとほこりで埋め尽くされた、絶望的なテナントを見回していた。ここが第3の安藤眼科医院になるかもしれないと期待しながら・・・・。

1989年から安藤眼科医院（松田町）、1996年から安藤眼科医院小田原クリニック（小田原市）と、2ヶ所の診療所を私達は運営してきた。安藤眼科医院では、2011年には大規模な移転計画を立案したが、地主さんの都合により、設計が完了していたにも関わらず、白紙撤回されるという憂き目にあった。移転計画の中止を受け、自分は以前から勘案の、南足柄クリニック開設に向けた調査を本格化させた。

目をつけたテナントの立地は申し分なかったが、長い間飲食店として営業してきた店舗は、オイルピットの撤去、床のコンクリート段差の解消、見たこともないゴキブリの大集団の駆除等、工事は困難を極めた。しかしそれは見事に美しく変身し、安藤眼科医院南足柄クリニックは無事に完成した。

あれから1年が経とうとするこの冬、毎日のように現場に通い、底冷えする現場で職人と飲んだ缶コーヒーの美味しさが、昨日のことのように思いだされる。

厳しい工期で工事を完成して下さった㈱創建 加藤健氏に心から感謝し、2012年の思い出とする。

2012年をふりかえって

看護師長 伊東 淳子

2012年の看護師の勤務体制は常勤2名が産休に入り、かなりきびしい状況でした。ですが、看護師はもちろん先生方や検査員、事務の方々の協力もあり、無事にこの一年を終えられた事を、本当に皆様に感謝しています。ありがとうございました。

業務に関して、2011年に導入した手術管理システムについてチェック体制の見直しを行った事で無駄を省く事が出来ました。また、より正確に、より確実に手術が行えるようにしたいという医師の要望を受け、文書の見直しを行い更に内容が充実しました。

現在、看護師は産休から1名復帰し、研修期間中の看護師が1名、さらに今後常勤の看護師が1名増える予定です。2013年は安藤眼科医院の理念に添ってより充実した1年となるよう体制を整えていきたいと思います。皆様、2013年もどうぞよろしくお願ひ致します。

2013年を迎えるにあたって

手術室長 木村 智嘉

院長のあいさつにもあった通り2012年も安藤眼科医院にはいろいろと新しい出来事が起こりました。

その中でも、私の職務上外すことのできないのが新規近視矯正手術機器と硝子体手術機器の導入です。硝子体手術に関しては外部から先生（超有名な先生）を招いての手術ということもあり手術室スタッフ全員毎回緊張しっぱなしで手術を行っています。（もちろん、院内の先生が行う手術の時も細心の注意を払って手術に臨んでいますよ。）

このように最新鋭の機器を身近に働けるのは単純に『楽しい！』のですが、その最新鋭の機器を備える眼科のスタッフとして恥かしくないよう日々努力していかなければならぬと感じております。

新し物好きの名誉院長にはまだまだ、楽しい事好きの院長にはますます、我々スタッフに新しい刺激を与え続けていただきその刺激に応えスタッフも努力し、患者様に愛され地域に誇れる『安藤眼科医院』を作つていけたら良いと考えております。

2012年の思い出

1月 17日	南足柄クリニック工事・器械搬入・設置
1月 19日	松田 Optos 搬入
2月 2日	安藤眼科医院南足柄クリニック 開業
2月 3日	ニデック EC5000 最終手術
2月 4日	ニデック EC5000 さようなら、ありがとう
2月 4日～5日	エキシマレーザー室改装工事
2月 17日	小田原クリニック施設見学 川崎市 壇之上和彦先生 御来院
2月 25日	Visx、Wavescan 搬入
3月 3日	VisuMax 搬入
3月 16日	防災対策訓練
3月 21日	小田原クリニック施設見学 宮久保眼科 宮久保純子先生 谷田様 御来院
3月 23日	北里大学附属病院 神谷和孝先生 御講演
3月 31日	第1回 VisuMax Visx での手術 講義と立会い：みなとみらいアイクリニック 荒井宏幸先生
4月 20日	第1回 FLEX 手術
5月 21日	金環日食
5月 23日	小田原クリニック施設見学 宮久保眼科 岩崎明美先生 御来院
8月 17日	第1回 SMILE 手術 防災訓練（松田・小田原）
8月 24日	納涼会
9月 1日	アルコン 眼科手術装置 コンステレーション搬入
9月 13日	防災訓練（南足柄）
10月 5日	SMILE 手術 枚方市 山岸和矢先生 御来院
10月 18日～	白内障術後眼内炎多施設協同研究 エントリー開始
10月 30日	トプコン ウェーブフロントアナライザー KR-1W 搬入
11月 1日～	臨床研究へのご協力のお願い 配布開始
12月 6日	小田原クリニック施設見学 横浜共済病院 横口亮太郎先生 御来院
12月 15日	忘年会

学会・勉強会

1月 6日	みなとみらいアイクリニック手術見学 井上拓巳 伊東淳子 金田浩子 Lentis Mplus 説明会 クオリタス 山田様
1月 13日	乱視用 ICL 説明会 スタージャパン 依田様
1月 24日	北里大学手術見学 安藤展代 井上拓巳 木村智嘉
1月 27日～29日	日本眼科手術学会総会（名古屋） 安藤浩 安藤展代 江口亮 石川暢子 高木智恵子 木村智嘉 みなとみらいアイクリニック検査見学 井上拓巳 杉山和香奈 野村桃子 関東信越厚生局個別指導 安藤浩 加藤晃仁
2月 4日	北里大学手術見学 江口亮 伊東淳子 金田浩子
2月 8日	
2月 21日	

2月 23 日～25日	日本角膜学会総会 日本角膜移植学会 石川暢子 高木智恵子
2月 25 日	みなとみらいアイクリニック手術見学 安藤展代
3月 5 日	高田眼科見学 井上拓巳
3月 9 日	ムコスタ勉強会 大塚製薬 松尾様
3月 10 日	ネバナック点眼液 発売1周年記念講演会 安藤展代
3月 29 日	診療報酬改訂説明会 加藤晃仁
3月 31 日	中央健保懇話会 加藤晃仁
4月 5 日～8日	日本眼科学会総会(東京) 安藤浩 安藤展代 江口亮 石川暢子 高木智恵子
4月 21 日	第1回 Surugadai Ophthalmic Clinical Conference(東京) 安藤展代
4月 27 日	アイファガン勉強会 千寿製薬 吉柴様
4月 27 日～5月 1日	ASCRS(シカゴ) 江口亮
5月 18 日	日本画像情報マネジメント協会セミナー 江口亮
6月 15 日～17日	日本白内障屈折矯正手術学会総会(東京) 安藤浩 安藤展代 江口亮 石川暢子 高木智恵子 学会発表 小切開水晶体再建術後眼圧上昇因子の検討(1):高木智恵子他 小切開水晶体再建術後眼圧上昇因子の検討(2):江口 亮他
7月 13 日	医療安全講習会 参天製薬 眼科経営研究室室長 土屋様
7月 14 日～16日	日本感染症学会・眼内炎学会・日本涙道・涙液学会 コンタクトレンズ学会総会(横浜) 石川暢子
7月 20 日	アスタキサンチン勉強会 アスターール(株) 富樫様
8月 2 日	CAOSの会(東京 井上眼科病院) 安藤浩
8月 3 日	CAOSの会(姫路 野本眼科) 安藤浩
8月 4 日	CAOSの会(広島 小浦眼科) 安藤浩
8月 24 日	緑内障治療 PG剤と配合剤勉強会 ファイザー製薬 本間様
8月 29 日～9月 28日	ESCRS(ミラノ) 安藤展代
9月 8 日	神奈川県眼科医会健保懇話会 安藤浩 加藤晃仁
9月 13 日	医療機器販売業管理者継続研修 安藤浩
9月 20 日	IBM統計セミナー(東京) 江口亮
9月 28 日～30日	日本緑内障学科総会(金沢) 安藤浩 高木智恵子
10月 1 日～	白内障術後眼内炎多施設協同研究 エントリー開始
10月 12 日	トラバタンズ・エクスプレス勉強会 日本アルコン(株)
10月 20 日	シラスHD-OCT ユーザーセミナー 須貝剛
10月 25 日～28日	日本臨床眼科学会(京都) 安藤浩 安藤展代 江口亮 高木智恵子
11月 1 日～	臨床研究へのご協力のお願い 配布開始
11月 9 日	手洗い消毒勉強会 中北薬品(株) 岩間様
11月 10 日	第2回 Surugadai Ophthalmic Clinical Conference 東京ステーションコンファレンス 安藤展代 高木智恵子
11月 16 日	ベータの会 稲村眼科クリニック 安藤展代 発表:Zeiss社製 VisuMaxによる屈折矯正

11月30日～12月2日 日本網膜硝子体学会総会(山梨) 江口亮
12月 『睫毛乱生手術』眼科ケア2012 冬季増刊掲載 石川暢子
12月5日 足柄上病院講演会 駿河台日本大学病院 湯澤美都子先生
安藤浩 安藤展代 江口亮 石川暢子 高木智恵子
12月7日 アイリーア硝子体内注射液勉強会 参天製薬 城平様

医師会・眼科医会

1月14日 足柄上医師会新年会『千代田屋』にて 安藤浩
3月24日 足柄上三師会総会『千代田屋』にて
神奈川県眼科医会「新入会員との懇談会」 安藤浩
4月23日 湘光中学校 学校健診 石川暢子
4月25日 吉田島総合高校 学校健診 江口亮
4月26日 湘光中学校 学校健診 石川暢子
5月8日 大井小学校 学校健診 高木智恵子
5月9日 中村小学校 学校健診 江口亮
5月14日 大井高校 学校健診 安藤浩
上大井小学校 学校健診 石川暢子
5月16日 山北高校 学校健診 江口亮
5月21日 松田第1・第2幼稚園 学校健診
5月22日 大井小学校 学校健診 高木智恵子
東海大学病診連携会世話人会
5月23日 井ノ口小学校 学校健診 江口亮
5月28日 松田中学校 学校健診 安藤浩
5月30日 中井中学校 学校健診 江口亮
5月31日 上大井小学校 学校健診 石川暢子
6月4日 寄幼稚園・小・中学校 学校健診 安藤浩
6月6日 相和幼稚園・小学校 学校健診 高木智恵子
6月7日 大井幼稚園 学校健診 石川暢子
6月11日 ポリオ予防接種 安藤浩
6月14日 足柄上理事役員会 安藤展代
6月18日 松田小学校 学校健診 安藤浩
6月19日 大井幼稚園 学校健診 高木智恵子
6月22日 足柄上医師会 講演会 安藤浩
6月26日 足柄上医師会 福利厚生委員会 安藤浩
6月29日 足柄上医師会総会『千代田屋』 安藤浩 安藤展代
7月5日 足柄上病院との懇談会『千代田屋』 江口亮
東海大学病診連携会本会
9月22日 眼科休日診療(小田原市休日急患診療所) 高木智恵子
10月1日 足柄上医師会 社会保険診療懇話会『千代田屋』 安藤浩
11月1日 大井町就学時健康診断 高木智恵子
11月13日 松田町就学時健康診断 安藤浩

11月 20日	足柄上病院病診連携懇話会
12月 5日	足柄上医師会・小田原医師会共催 学術講演会

改裝・修理

1月 17日	南足柄クリニック工事・器械搬入・設置
2月 2日	南足柄クリニック 開院
2月 4日～5日	エキシマレーザー室改裝工事
2月 10日	小田原クリニック 手術室防犯カメラ修理
3月 1日	手術室防犯カメラ修理
3月 10日	松田第1駐車場フェンス修理
5月 12日	松田・小田原クリニック 防犯カメラ マイク交換工事
11月 24日	松田第3駐車場看板設置工事

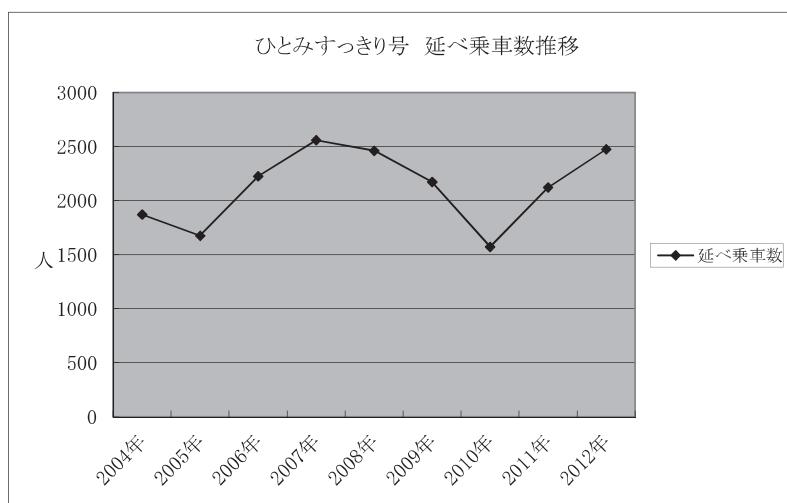
新設器械

1月 17日	南足柄クリニック分 H/S スリットランプ 900BQ LED トノメーター付 スリットランプ ビデオシステム ニデック トノレフⅡ スペースセービングチャート オートレンズメーター 鈴弥 検眼レンズセット コーウェル コンパクト電動光学台 ポータブルスリットランプ ナイツ BS-III LED ブライトスコープ タカギ オートデスク ST-40 電動小椅子 はんだや デジタルPDメーター ニデック NAVIS 電子カルテシステム
1月 31日	超広角走査レーザー検眼鏡 オプトス 200TX
2月 25日	AMO Visx、Wavescan カールツァイス VisuMax
7月 2日	ドルク キセノンライトスター光源装置
7月 31日	カールツァイス 眼底観察システム Resight700
9月 1日	アルコン 眼科手術装置 コンステレーション
10月 29日	ニデック NAVIS-CL 電子カルテシステム 参照端末
10月 30日	トプコン ウエーブフロントアナライザー KR-1W

2012年に行われた手術（眼数）

保険診療分合計	2233	自由診療分合計	384
内眼手術	1876	ICL	5
水晶体再建術	1730	フェイキック IOL	1
緑内障手術	101	LASIK	250
硝子体手術	45	PRK	3
外眼手術	357	エンハンス	15
翼状片手術	59	自由診療による水晶体再建術 (水晶体再建術内数)	110
眼瞼手術	151		
霰粒腫手術	24		
涙道	0		
PTK	2		
LRI	3		
ケナコルト	106		
その他外眼	12		
		総合計	2617
硝子体内注射	96		
マクジエン	5	ルセンティス	84
		アバスチン	7

ひとみすっきり号(無料送迎車)の動き



2012年1月～12月 延べ患者様数2,475人 月平均206人
主な送迎場所

- ・安藤眼科医院～安藤眼科医院小田原クリニック

- ・足柄上郡松田町寄地区

- ・足柄上郡山北町中川地区・清水地区

手術患者様は、小田原市・松田町・山北町・大井町・開成町・中井町全域を door to door で送迎しています。

2012年皆勤賞 無遅刻・無欠勤・無早退の方々です。拍手！

北村 幸子 金田 浩子 甲斐 智美 小寺 弥生 鈴木 智子 野崎 友希
小林 里奈 宮下 千加子 倉林 あゆみ 中村 久美子

入職者 がんばって下さい。

荻野孔美さん(事務)	2012年10月17日入職
久野妙子さん(看護師)	2012年11月1日入職
町田裕子さん(事務)	2012年11月1日入職
坪井明日香(検査)	2012年11月1日入職

退職者 ごくろう様でした。

津川 夕子さん	2012年4月30日退職
分部 愛さん	2012年8月31日退職

スタッフ

常勤医：	安藤 浩 安藤展代 江口 亮 高木智恵子 石川暢子
看護師：	井上拓己 北村幸子 金田浩子 甲斐智美 伊東淳子 榎本和美 松山さやか 藤田 孝枝 香川奈美子
臨床検査技師：	木村智嘉 志村 舞 須貝 剛 十文字 恵 小林香澄 野村桃子
視能訓練士：	杉山和香奈 倉林あゆみ
検查看護補助：	鈴木智子 高橋京子 近藤景子 山川久美子 岡田真由子
事務：	加藤晃仁 小泉琴代 小寺弥生 加藤明子 野地真弓 野崎友希 飯山百合子 小林里奈 波多野麻里亞 山口いづみ 宮下千加子 関絵理子 鈴木雅美 原 弘恵 矢口弥生 山村明子 関 麻子 齋藤明奈 安達幸子 中村久美子 菊原美和子
ドライバー：	丹野文義 平塚勝巳
研修中：	荻野孔美 久野妙子 町田裕子 坪井明日香

おまけ：5月21日 金環日食

院長 安藤 浩

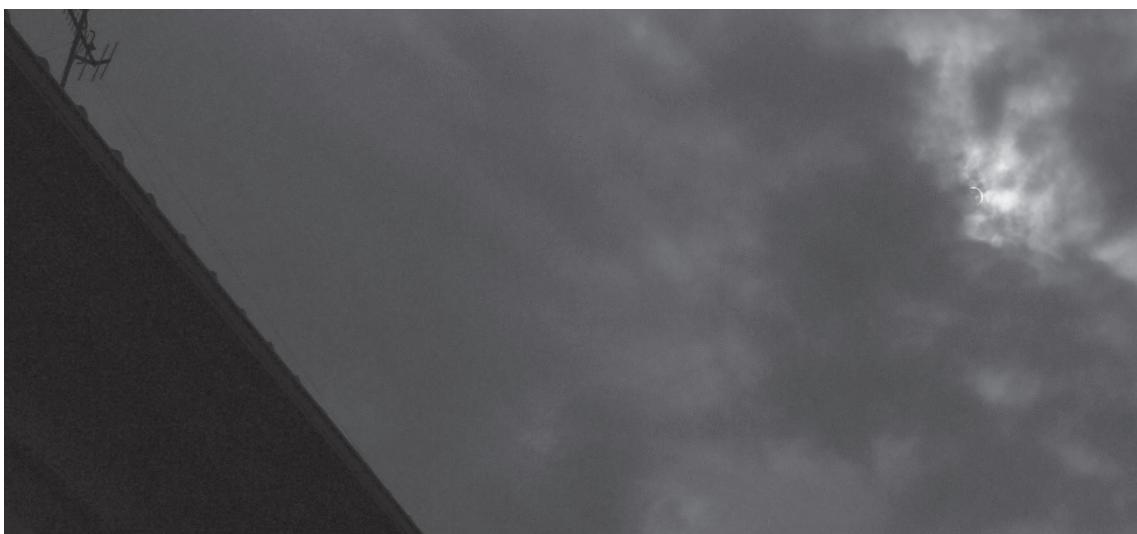
2012年5月21日には、金環日食がありました。午前7時34分の金環日食に備え、前年の暮れから、同日の朝の診療開始時間を遅らせる予定を立て、職員全員とその家族希望者に太陽観測用グラスを配布して待っていました。

思い起こせば、2009年、皆既日食が日本の南西方向の一部でみられたとき、ちょうどその時刻に狙ったように豪雨が降り、どの地域でもほとんど皆既日食や部分日食が見られなかつたことがありました。この悔しさを全員が覚えていたので、今度こそ！という思いと、自宅から特大の天体ショーが見られることを、とても楽しみに思っていたのです。世間では太陽観測グラスが売り切れ続出を起こしているときに、我々安藤眼科医院のスタッフは、色々と準備万端で天体ショーの開始を待っていたのでした。

さて、5月21日朝、あいにくの小雨もぱらつく曇り空です。私は茅ヶ崎の自宅でじっと空を見ていました。ゆるゆると動く雲を眺めている最中にも、テレビからは良く晴れた水戸からの中継が流れてきます。雲は気まぐれな海風にのって移動しながら、厚く太陽の方角を遮り続けます。テレビから金環食がほぼ完成したことが知らされた、ちょうどそのとき、明るさの微妙な変化がおこりました。太陽の方向の雲が、薄くなってきたのです。諂めかけていた空を見上げると、薄い雲を通して、太陽が見えます。真ん中が黒く抜けている！！！ 雲越しなので、肉眼で十分に太陽を見られます。美しく光るリングとなった太陽が、淡い光で空を照らしています。今年最大の天体ショーをばっちりと自宅庭から、私は肉眼で観測できたのでした。太陽観測グラスを通すと太陽のダイナミックさが半減します。「太陽黄斑症の症例集計に俺自身が症例として貢献したら恥だなあ」と、眼科医としては失格な心配をしながら、思う存分、私は金環食を楽しんだのでした。本当に、驚くほど神秘的で、素晴らしい景色でした。

同日、そして、翌日、さらに1週間と、私は安藤眼科医院の職員を捕まえては、金環食の自慢話をし続けました。なぜならば、安藤眼科医院の本体があり、多くの職員が居住する小田原、足柄平野は、全く晴れることなく、金環日食を見物できたのは、偶然、金環食の瞬間に、自宅上空に雲の切れ目が当たった私だけだったからです。

金環食を見られなかつた皆さん、次に、国内で金環食が見られるのは2030年6月1日に北海道です。それまで、がんばって待ちましょう。



写真：金環食太陽 2012年5月21日 安藤浩自宅

Olympus PEN E-PL2 (=ごく普通のデジカメ) -3補正、42mmレンズ、フィルターなし、(=肉眼で見たのとほぼ同じ景色)

右上のちっちゃいのが金環食の太陽です。良く見てね。雲に邪魔されているけれどリング状です。